



ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 栃木県産業会館新築地質調査 孔番 No. №1 地盤高 -0.360m

調査場所 宇都宮市中央町3丁目1番地 (基準面 仮BM ±0.00)

地 形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和54年 10月 日 ~ 月 日

A-16 ①

地下(孔内)水位 GL-4.20 m

調査担当者 _____

標地下水位 高位(m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験									
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打撃回数								
												0	10	20	30	40	50	60	70	
	1.10	1.10	//	盛土	黒灰			№1			1.15	1								
			X	表土	黒灰		ローム質土 有機物混入			1	3.5	1.50	35							
	2.80	1.70	//	鹿沼土	茶褐色					2	1.1	3.15	2							
	3.00	2.20	//	ローム	"		含水中粘土質			2	15.16	3.46	31							
	3.55	0.55	○				含水中透水あり 礫φ100~			3	5.0	4.15	50							
			○				200%の玉石 混入礫は角ば っている			3	7.0	4.25	10							
			○				所々ゆるい箇所あり 粘土少量混入			4	32.18	5.15	50							
			○							4	18	5.33	18							
	7.10	3.55	○	砂礫						5	15.16.19	6.15	50							
			○							5		6.45	50							
	7.70	0.60	○	粘土	褐		含水大 柔い			7	2.2.3	7.15	7							
			○				含水中 やや 固結している			7		7.45	7							
			○				10.30mより φ50%位の 礫が点在する 所あり(黄緑)			6	1.2.2	8.15	5							
			○							6	2.1.2	9.15	5							
	10.50	2.80	○	粘土						6	7.45	8.45	5							
			○							7	2.3.2	10.15	7							
			○							7	10.45	10.45	7							
			○				10.6mまで粗 砂層。含水中礫 φ30%位の 礫。全透水φ 120%玉石混る			7	17.21.12	11.15	50							
			○							7	5	11.40	25							
	12.80	2.30	○	砂礫						8	5.0	12.15	50							
			○							8	5	12.20	5							
			○				上層変質 砂質泥岩質で 軟岩に属す。			9	28.22	13.15	50							
			○							9	15.20.15	13.30	15							
			○							9	5	14.15	50							
			○							9	14.40	14.40	25							
			○							10	16.23.11	15.15	50							
			○							10	15.41	15.41	26							
	16.35		○	岩盤						10	24.26	16.15	50							
			○							10		16.35	20							

◎ ホーリング地点

正面出入口

